

令和6年2月

定例教育委員会会議録

十日町市教育委員会

令和6年2月定例教育委員会会議録

1 開催日時、会場

令和6年2月22日（木） 15時30分～17時15分
川西庁舎 4階 第1研修室

2 出席

渡辺正範教育長、浅田公子委員、廣田公男委員、川崎正男委員
（渡邊奈々子委員は欠席）

3 説明のため出席した者

教育文化部長（鈴木政広）、教育総務課長（玉村浩之）、学校教育課長（細木久成）、指導管理主事（藤田剛）、生涯学習課長（樋口具範）、スポーツ振興課長（庭野日出貴）、文化財課課長（菅沼巨）、情報館長（笠原実）、森の学校キョロ副館長（小海修）

4 会議の内容

（1）会議録署名委員の指名

署名委員：川崎委員、浅田委員

（2）報告事項

① 共催・後援等報告

渡辺教育長

- ・事務局の説明を求めた。

各担当課長

- ・資料に基づき説明

② 報告第1号 市立中学校のあり方検討委員会について

玉村教育総務課長

- ・資料に基づき説明

廣田委員

・資料の中に生徒数の推移のグラフがあるが、南中学校のR16の見込みが163人で、R17の見込みは127人である。1年で36人が減るということだが、正しい数字か。

玉村教育総務課長

・R17の中学1年生はR4年生まれである。R4年は全体として出生数が減った年であり、その中でもそこが特に減っているということである。

（以上の質疑の後了承した）

③ 報告第2号 令和6年度の児童生徒数及び保育園入所数見込について

鈴木教育文化部長

- ・資料に基づき説明

廣田委員

- ・市内の中学生が津南中等教育学校に相当行っているとのことだが、市内の中学校がどのくらい影響を受けているのか、欄外でもいいので書けないか。

鈴木教育文化部長

- ・津南中等に行く生徒は、国道117号沿いで中里中、水沢中、南中学校が多い数になっている。その中でも南中が一番平均的には伸びている。R5の小学6年生が338名でR6の中学1年生の見込み288ということで、差引き50、このうちかなりの数が津南中等に行き、そのほか市外の新大附属など、いろいろなところに行く。ただ、転出もあるので、一概には言えないが1学年あたり四十人程度が津南中等へ行っているというイメージである。

(以上の質疑の後了承した)

(3) 議決事項

①議案第1号 十日町市立学校教員住宅管理使用規程の一部を改正する訓令制定について

渡辺教育長

- ・議案第1号を上程し、事務局の説明を求めた。

玉村教育総務課長

- ・資料に基づき説明

(特に質疑なく決定した)

②議案第2号 十日町市学校給食地産地消推進員設置要綱の制定について

渡辺教育長

- ・議案第2号を上程し、事務局の説明を求めた。

細木学校教育課長

- ・資料に基づき説明

川崎委員

- ・要綱の中に「地域点検の実施」という部分があるが、地域点検はどのようなことか。

細木学校教育課長

- ・地域を回りながら、学校給食に生かせる食材や地域の生産者を開拓していくということである。

(以上の質疑の後決定した)

③議案第3号 十日町市学校給食配送車両燃料費高騰対策事業支援金交付要綱の制定について

渡辺教育長

- ・議案第3号を上程し、事務局の説明を求めた。

細木学校教育課長

- ・資料に基づき説明

(特に質疑なく決定した)

④議案第4号 令和6年度十日町市小中一貫教育実施計画の策定について

渡辺教育長

- ・議案第4号を上程し、事務局の説明を求めた。

細木学校教育課長

- ・資料に基づき説明

川崎委員

・大変見やすくなって、いいなと感じた。いくつか気になる点があり、まず「グラウンドデザインの作成」とあるが、もう作成されているものなので、改善や見直しだと思う。それから、ところどころ「〇〇の教育」とか、「〇〇の家庭学習」など、〇〇が入っている。何となく分かるという気持ちもあるが、もう少し他の表現方法はないかと思った。

それから、後段の「成果と課題」では3つの課題があるが、残念ながら課題達成には至っておらず、その辺の反省も少し入れた方がよいのではないかと。

また、令和6年度、何に注目するかというと、家庭学習ということだが、これも少し考え物だなというのが正直な感想である。なぜかということ、この家庭学習下がった要因には、コロナがかなり大きい要因としてあったと思う。その中において、これだけを何かとにかく上げればいいという話になると、ついていける子供もいると思うが、不登校、適応指導が必要な子供については、また厳しい状況が生まれてくるということが想定できる。今、文科省のほうでは個別最適の学習と言っているわけで、ICTを使ったドリル学習などを通して、子供が本当に何か自分で学びたいとか、自分の欠点を少し補習したいとか、そういう子供一人一人を育てるという観点での家庭学習だったらいいと思う。家庭学習の時間だけに注目しないで、中身を充実、子供一人一人が本当に伸びていけるように家庭学習も先生方から支援してもらいたいと感じた。

細木学校教育課長

・ご指摘のあった文言の修正は課内で相談したい。3つの課題の評価は、別に資料編があるので、この部分でさせていただきたい。

家庭学習の内容では、次年度に向けて家庭学習にも活用可能な、個別最適な学び、個々に合った課題に挑戦できるICTのソフトを入れる予定である。それを家庭学習でも利用しながら、基礎的な学力を伸ばしたり、それを基にして授業で対話的な深い学びができるように、子供たちの学習を深めていけたらと思っている。

廣田委員

・家庭学習のところだが、ここに学習習慣をつけるための取組を保護者等の協力を得ながら行ってきましたと書いてある。家庭学習の時間を作るには、夕飯を早く食べて、早く勉強をやって、早く寝るのが一番いいと思うが、そういったところでの保護者の協力、家での時間の過ごし方など、具体的に先生から保護者にそういうお話をしてほしい。ただ勉強しろでは協力にならないと思うので、そういった支援をお願いしたい。

細木学校教育課長

・例えば小学校の低学年は、なかなか自分で学習することができないときには保護者がそばにいたり、台所の近くで学習したりすることで効果が上がると思う。また、中学校では部活など条件があるので、中学校によっては1週間をトータルしてこれぐらい学習しようと計画を立てさせているような学校もある。そういった計画を家庭と連携しながら取り組んでいただきたいと考えており、学校に声をかけていきたい。

浅田委員

・家庭学習のところ、小学校6年生が1日2時間以上家庭学習をしている割合がピックアップされているが、小学校6年生で2時間以上やるお子さんが15.6%いらっしゃるというのはすごいなと思った。

また、資料編に個々のアンケートの結果があるが、このトピックについてお子さんと先生が話し合ったりするような機会があるのか。例えば「いじめはどんな理由があってもよくないと思う」とか、自分でもよくないという理由を言いなさいと言われたら考えてしまうが、子供たちに何か討論させるような機会があるといいなと感じた。

細木学校教育課長

・まず、家庭学習の時間に関しては、文部科学省が調査し全国の数字を出しているが、ここには学習塾に行っている時間も含んでいると思われる。十日町の子供たちは学習塾の時間は家庭学習として含んでいないように思うが、子供たちが自分たちの1日の学習を振り返ったり、さらにまた予習をするような形の家庭学習になるといいと考えている。

いじめについては、子供たちの発達段階によって、討論したりするような場面は必要になってくると思う。小学校では小さなことから、これは嫌だなと思うようなこと

などを教職員の方からそれはいけないことだということを、小さなうちから早期発見をして、子供たちと考えさせる場面というのは正しくつくるなど、一つ一つ丁寧に上げるよう、指導しているところである。全国的な認知件数は小学校2年生が最も多く、そこから徐々に中学校3年生にかけて認知の数というのが少なくなっている。ただ、十日町市は中学校になると認知の数が増えており、小学校でもっと積極的に小さなうちからしっかりとそれを取り上げて指導していく必要があると考えており、子供たちとも一緒に考えて行く必要があると思っている。

(以上の質疑の後決定した)

⑤議案第5号 令和6年市議会第1回定例会提出補正予算案の承認について

渡辺教育長

- ・議案第5号を上程し、事務局の説明を求めた。

各担当課長

- ・資料に基づき説明

川崎委員

- ・スクールバスの運行委託費の増額補正の理由をもう一度説明してほしい。バスを利用した学校の校外学習を抑制するものか。

玉村教育総務課長

- ・市役所本庁舎でマイクロバスを所有しており、それを使って市役所の自動車運転手が校外活動に連れていっていた。それは、委託料等がかからなかったが、今本庁舎のマイクロバスの台数と自動車運転手の人数が限られており、本庁舎で校外活動を受けられない部分をNPO法人などをお願いしている。今まで委託料等がかからなかった分が、課外活動・校外活動が盛んになるにつれて、NPO法人などをお願いする回数が増えたことで、委託料及び燃料費が増加したものである。

(以上の質疑の後決定した)

⑥議案第6号 令和6年市議会第1回定例会提出令和6年度当初予算案の承認について

渡辺教育長

- ・議案第6号を上程し、事務局の説明を求めた。

各担当課長

- ・資料に基づき説明

廣田委員

・「大地の芸術祭活用教育事業」で、非常勤指導主事を新たに配置するという事で報酬を121万円計上してあるが、これは何か月分なのか。

細木学校教育課長

・週3日、1日6時間という形で、年間通じての金額である。

廣田委員

・この事業の使用料の用途は。

細木学校教育課長

・子供たちがバスで移動するための、バス使用料である。

川崎委員

・特別支援教育の充実ということで予算化をしていただき、大変ありがたいと思っている。「教育支援員設置事業」で54人分という表記があるが、これは何人増やすことになるのか。

細木学校教育課長

・今年度に比べ8人増やしている。

浅田委員

・スポーツ振興課で「ミッション型地域おこし協力隊活用事業」があるが、過去に実績はあるのか。

庭野スポーツ振興課長

・令和5年度に事業化をして、隊員の募集をかけたが応募がなく、令和6年度に改めて予算化をしたものである。

(以上の質疑の後決定した)

⑦議案第7号 令和5年度末令和6年度初学校管理職人事異動に関する承認について

渡辺教育長

・議案第7号を上程し、事務局の説明を求めた。

細木学校教育課長

・資料に基づき説明

(特に質疑なく決定した。)

5 その他

(1) 3月の主な行事予定について

- ・資料に基づき説明

(2) 次回定例教育委員会の開催日時

- ・3月臨時会 3月8日（金）9時30分から開催することを確認した。

以上で、17時15分に渡辺教育長が閉会を宣言した。

以上の会議録に誤りがないことを認め、ここに署名する。

会議録署名委員

会議録署名委員

会 議 書 記